HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	東京墨田区における事業体・世帯(家族)の生産・生活様式変容と地域社会の構造的変質過程：現下における「家」的社会の構造変質諸過程の分析：第2部 墨田区における市民諸階層の生活とその階級的規定性：第3章 個人を単位とする諸階級の生活・意識・社会関係の諸特質
Author(s)	小内, 透
Citation	『調査と社会理論』・研究報告書, 14, 118-137
Issue Date	1990
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/22602
Type	bulletin (article)
File Information	14_P118-137.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

第3章　個人を単位とする諸階級の生活・意識・社会関係の諸特質

第1節　データの属性

本稿では，諸階級の生活や意識，さらに社会関係の実態を諸個人のレベルにおりて，男女別に明らかにしていく。その際用いるデータは，世帯主と配偶者を含めた個人を単位とする387ケースのデータである。そこで，まず，対象となるデータの属性について説明しておこう。

表2－3－1は387のサンプルの階級構成をみたものである。ここから，資本家はほぼ男性のみであること，自営は男女とも販売・サービスが中心であるが，男性は自営業主，女性は家従であること，労働者は男性は不生産・生産・専門が中心で，女性は臨時パートが圧倒的であること，女性の場合男性とは異なり，無職が最も多いことなどが明らかになる。つまり，男性と女性の階級構成は大きく異なる特徴を示しているということである。

ところで，こうした階級構成を形づくる諸個人は，同じ階級であっても，東京に移住した世代の違いを内包していることに注意する必要がある。たとえば，表2－3－2をみると，男性の場合，労働者は一代目がもっとも多く，自営になると2代目，資本家では3代目がモードになるという違いがみられる。しかし，いずれの階級の場合にも過半数のものがひとつの世代に集中するという形はみられない。それは，表2－3－3のように，女性の場合にも同様にあてはまる。

しかも，ここで重要なことは，こうした東京移住世代の違いは，第一に，年齢構成の違いを内包しているということである。例えば，男性についてみると，表2－3－4にみられるように，資本家では，一代目は50・60代がおらず30・40代と70才以上の両極にわかれ，二代目は逆に40・50代に集中している。また，自営の場合，一代目は50代が50%を超えるのに対し，二代目は40・50・60代がほぼ同じ割合となっている。さらに，労働者では，一代目層が20代から40代で7割近くを占めているのに対し，二代目は30・40代とりわけ40代に集中する傾向を示している。こうした東京移住世代による年齢構成の相違は，表2－3－5のように，女性の場合にも明らかにみられる。いいかえれば，このことは，東京移住一代目の場合，それぞれの階級が日本資本主義の発展の特定の時期に移住してきた者によって構成されることを意味していると考えられる。

さらに，第二に，東京移住世代の差は当然のことながら，東京への根付きの深さの違いを示すものとなり，親族のネットワークの広がりの違いをもたらしている。この点を，本人の親や兄弟に限って検討してみると，都内に親・兄弟が居住する者の割合は階級の違いにかかわりなく，明らかに東京移住世代の違いによって大きく異なっている。すなわち，表2－3－6にみられるように，二代目以上では男性の場合，親との同居率が親の生死の別を問わずどの階層でも30%前後，これに都内居住の親を合わせるとどの階層でもほぼ50%をこえる。親と同居している一代目層が皆無で都内居住の親もどの階級でもほとんど存在しないことと比べると，きわめて大きな違いである。また，兄弟の都内居住率もまったく同様で，一代目が自営において37.9%の数値を示しているのが最高であるのに対し，二代目以上層はどの階層でも70～80%に達しており，ここにも明確な違いが現れている。女性の場合，階層，東京何代目の如何にか

表２－３－１　男女別階級構成

単位：人，％

		実数		構成比	
		男	女	男	女
資本家階級		22	1	11.4	0.5
自営業	自営業主・生産	46	0	24.0	0.0
	自営業主・販サ	35	7	18.2	3.6
	自営業主・専門	6	0	3.1	0.0
	自営家従・生産	0	22	0.0	11.3
	自営家従・販サ	3	31	1.6	15.9
	自営家従・専門	0	1	0.0	0.5
	計	90	61	46.9	31.3
労働者	労働者・専門	17	6	8.9	3.1
	労働者・事務	8	14	4.2	7.2
	労働者・生産	21	4	10.9	2.1
	労働者・不生産	25	12	13.0	6.2
	臨時・パート	4	30	2.1	15.4
	計	75	66	39.1	33.9
無職		4	63	2.1	32.3
不明他		1	4	0.5	2.1
合計		192	195	100	100

資料：実態調査より

表２－３－４　年　齢（男）

単位：％

		～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	不明	計
資本家階級		0.0	0.0	4.5	50.0	22.7	9.1	13.6	0.0	100(22)
	東京一代目	0.0	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0	28.6	0.0	100(7)
	二代目以上	0.0	0.0	0.0	46.7	33.3	13.3	6.7	0.0	100(15)
自営業	自営業・生産	0.0	0.0	2.2	23.9	41.3	21.7	10.9	0.0	100(46)
	自営業・販サ	0.0	0.0	10.5	23.7	39.5	23.7	2.6	0.0	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	100(6)
	計	0.0	0.0	5.6	24.4	38.9	24.4	6.7	0.0	100(90)
	東京一代目	0.0	0.0	3.4	10.3	51.7	20.7	13.8	0.0	100(29)
	二代目以上	0.0	0.0	5.2	32.8	32.8	25.9	3.4	0.0	100(58)
労働者	労働者・専門	11.8	17.6	23.5	35.3	11.8	0.0	0.0	0.0	100(17)
	労働者・事務	0.0	0.0	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	100(8)
	労働者・生産	0.0	9.5	19.0	19.0	23.8	19.0	9.5	0.0	100(21)
	労働者・不生産	0.0	12.0	32.0	48.0	4.0	0.0	4.0	0.0	100(25)
	臨時・パート	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	100(4)
	計	2.7	12.0	26.7	32.0	12.0	8.0	5.3	1.3	100(75)
	東京一代目	5.9	17.6	29.4	20.6	11.8	5.9	5.9	2.9	100(34)
	二代目以上	0.0	7.5	25.0	40.0	12.5	10.0	5.0	0.0	100(40)
無職・不明		0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	100(5)
合計		1.0	4.7	14.1	29.7	25.5	16.7	7.8	0.5	100(192)
	東京一代目	2.7	8.2	16.4	19.2	26.0	13.7	12.3	1.4	100(73)
	二代目以上	0.0	2.6	12.2	36.5	25.2	18.3	5.2	0.0	100(115)

資料：実態調査より

表２－３－２　東京移住世代（男）単位：％

		1代目	2代目	3代目	4代以上	不明他	計
資本家階級		31.8	27.3	36.4	4.6	0.0	100(22)
自営業	自営業・生産	34.8	41.3	15.2	6.5	2.2	100(46)
	自営業・販サ	31.6	47.3	10.3	5.3	2.6	100(38)
	自営業・専門	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	100(6)
	計	32.2	43.3	14.4	6.7	3.3	100(90)
労働者	労働者・専門	47.1	35.3	11.8	5.9	0.0	100(17)
	労働者・事務	37.5	37.5	12.5	12.5	0.0	100(8)
	労働者・生産	47.6	23.8	23.8	4.8	0.0	100(21)
	労働者・不生産	48.0	28.0	16.0	4.0	4.0	100(25)
	臨時・パート	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	100(4)
	計	46.0	29.7	16.2	6.8	1.4	100(75)
無職・不明		60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	100(5)
合計		38.0	34.9	18.2	6.8	2.1	100(192)

注：１）自営業には自営家従（販売・サービスの自営家従３ケース）が含まれる。
　　２）計の（ ）内は実数を示す。
資料：実態調査より

表２－３－３　東京移住世代（女）単位：％

		1代目	2代目	3代目	4代以上	不明他	計
自営業	自営業・生産	65.2	26.1	8.7	0.0	0.0	100(23)
	自営業・販サ	26.3	39.5	29.0	2.6	2.6	100(38)
	自営業・専門	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100(1)
	計	40.3	35.5	21.0	1.6	1.6	100(62)
労働者	労働者・専門	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	100(6)
	労働者・事務	42.9	50.0	7.1	0.0	0.0	100(14)
	労働者・生産	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100(4)
	労働者・不生産	50.0	33.0	16.7	0.0	0.0	100(12)
	臨時・パート	40.0	30.0	26.7	3.3	0.0	100(30)
	計	47.0	34.9	16.7	1.5	0.0	100(66)
無職		44.4	30.2	17.5	1.6	6.4	100(63)
不明他		0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	100(4)
合計		43.1	33.3	19.5	1.5	2.6	100(195)

注：１）女の場合，自営業は自営家従が主であるが，一部自営業主（販売・サービスの自営業主７ケース）と資本家階級１ケースが含まれている。
　　２）計の（ ）内は実数を示す。
資料：実態調査より

表２－３－５　年　齢（女）　単位：％

		～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	不明	計
自営業	自営業・生産	0.0	0.0	8.7	34.8	34.8	17.4	4.3	0.0	100(23)
	自営業・販サ	0.0	0.0	2.6	44.7	31.6	18.4	2.6	0.0	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100(1)
	計	0.0	0.0	6.5	40.3	32.3	17.7	3.2	0.0	100(62)
	東京一代目	0.0	0.0	4.0	28.0	40.0	24.0	4.0	0.0	100(25)
	二代目以上	0.0	0.0	8.3	47.2	27.8	13.9	2.8	0.0	100(36)
労働者	労働者・専門	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	100(6)
	労働者・事務	0.0	14.3	28.6	35.7	14.3	7.1	0.0	0.0	100(14)
	労働者・生産	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100(4)
	労働者・不生産	0.0	25.0	25.0	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0	100(12)
	臨時・パート	0.0	10.0	23.3	40.0	16.7	6.7	3.3	0.0	100(30)
	計	0.0	15.2	24.2	31.8	19.7	7.6	1.5	0.0	100(66)
	東京一代目	0.0	16.1	32.3	22.6	22.6	3.2	3.2	0.0	100(31)
	二代目以上	0.0	14.3	17.1	40.0	17.1	11.4	0.0	0.0	100(35)
無職		0.0	7.9	23.8	15.9	17.5	19.0	14.3	1.6	100(63)
不明他		0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	100(4)
合計		0.0	7.7	17.9	29.7	23.1	14.9	6.2	0.5	100(195)
東京一代目		0.0	8.3	21.4	21.4	25.0	15.5	7.1	1.2	100(84)
二代目以上		0.0	7.5	16.0	35.8	21.7	14.2	4.7	0.0	100(106)

資料：実態調査より

表２－３－６　親・兄弟の居住地（男）　単位：％

		親			兄弟			計
		同居	区内	都内	同居	区内	都内	
資本家階級		22.7	9.1	18.2	4.6	27.3	68.2	100(22)
東京一代目		0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	100(7)
二代目以上		33.3	6.7	20.0	6.7	33.3	86.7	100(15)
自営業	自営業・生産	13.0	8.7	8.7	2.2	26.1	67.4	100(46)
	自営業・販サ	28.9	7.9	18.4	2.6	13.2	57.9	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	100(6)
	計	18.9	7.8	12.2	2.2	20.0	64.4	100(90)
	東京一代目	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.9	100(29)
	二代目以上	27.6	12.1	17.2	3.5	31.0	75.9	100(58)
労働者	労働者・専門	11.8	5.9	29.4	5.9	5.9	35.3	100(17)
	労働者・事務	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0	62.5	100(8)
	労働者・生産	4.8	9.5	14.3	0.0	19.0	47.6	100(21)
	労働者・不生産	16.0	16.0	28.0	4.0	24.0	60.0	100(25)
	臨時・パート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100(4)
	計	10.7	10.7	21.3	2.7	17.3	48.0	100(75)
	東京一代目	0.0	5.9	8.8	2.9	0.0	14.7	100(34)
	二代目以上	20.0	15.0	32.5	2.5	32.5	77.5	100(40)
無職・不明		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	100(5)
合計		15.6	8.9	16.1	2.6	19.3	57.3	100(192)
東京一代目		0.0	4.1	5.5	1.4	1.4	24.7	100(73)
二代目以上		25.2	12.2	22.6	3.5	31.3	77.4	100(115)

注：１）数値は各場所に居住している親や兄弟がいる者の割合である。
２）「区内」「都内」の場合，同居している者を除いている。
３）「都内」には「区内」居住者も含めている。

資料：実態調査より

表２－３－７　親・兄弟の居住地（女）　単位：％

		親			兄弟			計
		同居	区内	都内	同居	区内	都内	
自営業	自営業・生産	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0	56.5	100(23)
	自営業・販サ	5.3	10.5	23.7	0.0	21.1	71.1	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100	100(1)
	計	8.2	6.6	16.4	0.0	13.1	65.6	100(62)
	東京一代目	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	52.0	100(25)
	二代目以上	8.6	11.4	28.6	0.0	20.0	77.1	100(36)
労働者	労働者・専門	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	100(6)
	労働者・事務	0.0	7.1	42.9	0.0	7.1	42.9	100(14)
	労働者・生産	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	100(4)
	労働者・不生産	16.7	8.3	8.3	16.7	25.0	58.3	100(12)
	臨時・パート	0.0	6.7	30.0	0.0	23.3	50.0	100(30)
	計	3.0	7.6	27.3	3.0	18.2	48.5	100(66)
	東京一代目	3.2	3.2	6.5	0.0	9.7	29.0	100(31)
	二代目以上	2.9	11.4	45.7	5.7	25.7	65.7	100(35)
無職		3.2	14.3	30.2	0.0	20.6	65.1	100(63)
不明他		0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	75.0	100(4)
合計		4.6	9.7	25.6	1.0	17.4	60.0	100(195)
東京一代目		4.8	4.8	9.5	0.0	8.3	40.5	100(84)
二代目以上		4.7	14.2	39.6	1.9	25.5	75.5	100(106)

資料：実態調査より

かわらず，同居する親はほとんどいない（表２－３－７）が，それ以外の点はほぼ男性と同様な傾向を示している。

第２節　生活時間の特質

さて，それでは，こうした特質を持つ諸個人は現実にどのような生活を送っているのであろうか。この点を，まず生活時間のあり方からみてみよう。

表２－３－８・９は生活時間の核となる仕事時間についてまとめたものである。ここから，どの階級・階層も長時間労働に従事していることが分かる。たとえば，10時間以上の長時間労働に従事している者が，自営の60％をはじめとして資本家で45.4％，労働者でも40％にのぼっている。

また，ここで特徴的なことは，資本家と労働者の場合，同じ階級であっても，東京移住一代目と二代目以上の間で長時間労働に従事する者の割合が異なっていることである。すなわち，資本家の場合，東京一代目の方が二代目以上と比べ労働時間が長く（二代目は９時間未満が20％だが，一代目は０％），労働者の場合にも東京一代目に限って12時間以上の割合が30％をこえており，資本家，労働者ともに，東京一代目の労働時間の長さが目につく。このことは，東京一代目の資本家の場合，自らの努力や労働によって築いた現在の地位を維持するためには，東京二代目の資本家より多くの労働時間を費やす必要があること，労働者の場合にも労働時間の短い職場を獲得する条件の一つとして東京という地域への根付きの深さがあることを物語っている。

こうした長時間労働は女性の場合にも自営では同様にみられる。しかし，労働者になると，東京移住一代目・二代目以上の違いにかかわらずほとんどが９時間未満となり，男性とまったく異なる特徴を示している。しかし，そのことは，女性が自由な時間を多く持っていることを必ずしも意味してはいない。それは，彼女たちの多くは労働者であると同時に主婦であり，家庭に帰ってからの家事労働が待ち受けているからである。結果として，表２－３－10・11のように睡眠時間を見るとむしろ男性の労働者よりも少ない者が多くなっているのである。

ところで，こうした長時間労働の現実のなかでは，休日はかけがえのない休養の場になる。しかし，男性の場合，表２－３－12に見られるようにどの階級・階層でも創造的な活動はみられず，「テレビ」や「ごろ寝」が休日の一般的な過ごし方になっている。それだけふだんの長時間労働がいかにきついかということを物語っている。しかし，そのなかで特筆すべきは，これだけの長時間の労働を強いられているにもかかわらず，資本家の東京一代目では休日にさらに「仕事の計画」を行うというものが57.1％もおり，休日の過ごし方の第二位にランクされていることである。これほどまでにしなければ自らの地位を確保し続けることができない不安定なこの層の特質が改めて確認できる。

さらに，注目する必要があるのは，女性の場合，表２－３－13のように，男性と異なり，無職を除いて「たまった家事」をするという点があげられていることである。「テレビ」はそれに次ぐものとなり，「ごろ寝」は余り見られなくなる。働きながら家事をすることによって睡眠時間を削っていた彼女達は，貴重な休日にさらに「たまった家事」をするという生活をお

表2－3－8　仕事時間（男）

単位：%

		～5h	5h～	7h～	8h～	9h～	10～	12～	14～	16～	不明	計
資本家階級		0.0	0.0	0.0	13.6	27.3	31.8	13.6	0.0	0.0	13.6	100(22)
	東京一代目	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	100(7)
	二代目以上	0.0	0.0	0.0	20.0	26.7	26.7	13.3	0.0	0.0	13.3	100(15)
自営業	自営業・生産	2.2	2.2	0.0	4.3	17.4	32.6	19.6	43	2.2	15.2	100(46)
	自営業・販サ	0.0	2.6	0.0	5.3	18.4	15.8	34.2	10.5	0.0	13.2	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	100(6)
	計	1.1	2.2	0.0	5.6	17.8	24.4	27.8	6.7	1.1	13.3	100(90)
	東京一代目	0.0	0.0	0.0	3.4	17.2	24.1	27.6	3.4	3.4	20.7	100(29)
	二代目以上	1.7	3.4	0.0	6.9	15.5	25.9	27.6	8.6	0.0	10.3	100(58)
労働者	労働者・専門	5.9	0.0	5.9	17.6	23.5	11.8	23.5	5.9	5.9	0.0	100(17)
	労働者・事務	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	100(8)
	労働者・生産	0.0	4.8	0.0	19.0	52.4	14.3	4.8	0.0	0.0	4.8	100(21)
	労働者・不生産	0.0	4.0	0.0	16.0	24.0	36.0	16.0	0.0	0.0	4.0	100(25)
	臨時・パート	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	100(4)
	計	1.3	4.0	1.3	20.0	29.3	22.7	13.3	2.7	1.3	4.0	100(75)
	東京一代目	2.9	5.9	0.0	14.7	29.4	8.8	23.5	5.9	2.9	5.9	100(34)
	二代目以上	0.0	2.5	2.5	22.5	30.0	35.0	5.0	0.0	0.0	2.5	100(40)
無職・不明		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	100(5)
合計		1.0	2.6	0.5	12.0	22.9	24.0	20.3	4.2	1.0	11.5	100(192)
	東京一代目	1.4	2.7	0.0	8.2	23.3	17.8	23.3	4.1	2.7	16.4	100(73)
	二代目以上	0.9	2.6	0.9	13.9	21.7	28.7	18.3	4.3	0.0	8.7	100(115)

資料：実態調査より

表2－3－9　仕事時間（女）

単位：%

		～5h	5h～	7h～	8h～	9h～	10～	12～	14～	16～	不明	計
自営業	自営業・生産	8.7	0.0	21.7	8.7	8.7	13.0	13.0	4.3	0.0	21.7	100(23)
	自営業・販サ	0.0	13.2	0.0	10.5	5.3	21.1	26.3	2.6	0.0	21.1	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100(1)
	計	3.2	8.1	8.1	9.7	6.5	17.7	21.0	3.2	0.0	22.6	100(62)
	東京一代目	0.0	8.0	12.0	12.0	8.0	20.0	16.0	0.0	0.0	24.0	100(25)
	二代目以上	5.6	8.3	5.6	8.3	5.6	16.7	25.0	5.6	0.0	19.4	100(36)
労働者	労働者・専門	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	100(6)
	労働者・事務	0.0	0.0	21.4	57.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	100(14)
	労働者・生産	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100(4)
	労働者・不生産	8.3	16.7	16.7	16.7	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	100(12)
	臨時・パート	0.0	43.3	20.0	16.7	3.3	6.7	0.0	0.0	0.0	10.0	100(30)
	計	1.5	22.7	18.2	28.8	6.1	9.1	1.5	1.5	1.5	9.1	100(66)
	東京一代目	0.0	12.9	22.6	29.0	9.7	9.7	0.0	3.2	0.0	12.9	100(31)
	二代目以上	2.9	31.4	14.3	28.6	2.9	8.6	2.9	0.0	2.9	5.7	100(35)
無職		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100(63)
不明他		0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100(4)
合計		1.5	10.3	9.2	12.8	4.6	9.2	7.2	1.5	0.5	43.1	100(195)
	東京一代目	0.0	7.1	11.9	14.3	6.0	9.5	4.8	1.2	0.0	45.2	100(84)
	二代目以上	2.8	13.2	7.5	12.3	3.8	9.4	9.4	1.9	0.9	38.7	100(106)

資料：実態調査より

表２－３－10　睡眠時間（男）

単位：％

		～5h	5h～	6h～	7h～	8h～	9h～	10～	不明	計
資本家階級		0.0	9.1	9.1	22.7	18.2	18.2	9.1	13.6	100(22)
	東京一代目	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	100(7)
	二代目以上	0.0	6.7	6.7	20.0	20.0	20.0	13.3	13.3	100(15)
自営業	自営業・生産	0.0	0.0	17.4	30.4	19.6	19.6	2.2	10.9	100(46)
	自営業・販サ	0.0	5.3	23.7	23.7	15.8	10.5	2.6	18.4	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	100(6)
	計	0.0	2.2	23.3	25.6	16.7	16.7	2.2	13.3	100(90)
	東京一代目	0.0	0.0	20.7	27.6	10.3	24.1	0.0	17.2	100(29)
	二代目以上	0.0	3.4	24.1	25.9	17.2	13.8	3.4	12.1	100(58)
労働者	労働者・専門	5.9	5.9	17.6	47.1	23.5	0.0	0.0	0.0	100(17)
	労働者・事務	0.0	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	100(8)
	労働者・生産	0.0	0.0	19.0	33.3	28.6	9.5	4.8	4.8	100(21)
	労働者・不生産	0.0	0.0	12.0	40.0	24.0	8.0	8.0	8.0	100(25)
	臨時・パート	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100(4)
	計	1.3	1.3	18.7	41.3	24.0	5.3	4.0	4.0	100(75)
	東京一代目	2.9	0.0	20.6	38.2	23.5	8.8	0.0	5.9	100(34)
	二代目以上	0.0	2.5	17.5	45.0	25.0	2.5	7.5	0.0	100(40)
無職・不明		0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	100(5)
合計		0.5	2.6	19.3	31.8	20.3	12.5	3.6	9.4	100(192)
	東京一代目	1.4	1.4	19.2	32.9	19.2	15.1	0.0	11.0	100(73)
	二代目以上	0.0	3.5	19.1	32.2	20.0	11.3	6.1	7.8	100(115)

資料：実態調査より

表２－３－11　睡眠時間（女）

単位：％

		～5h	5h～	6h～	7h～	8h～	9h～	10～	不明	計
自営業	自営業・生産	0.0	0.0	26.1	43.5	30.4	0.0	0.0	0.0	100(23)
	自営業・販サ	2.6	5.3	13.2	44.7	15.8	5.3	0.0	13.2	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	100(1)
	計	1.6	3.2	17.7	45.2	21.0	3.2	0.0	8.1	100(62)
	東京一代目	4.0	0.0	20.0	44.0	20.0	8.0	0.0	4.0	100(25)
	二代目以上	0.0	5.6	16.7	47.2	22.2	0.0	0.0	8.3	100(36)
労働者	労働者・専門	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	100(6)
	労働者・事務	0.0	14.3	42.9	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	100(14)
	労働者・生産	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	100(4)
	労働者・不生産	16.7	25.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	8.3	100(12)
	臨時・パート	0.0	6.7	26.7	50.0	13.3	0.0	0.0	3.3	100(30)
	計	3.0	10.6	30.3	34.8	9.1	0.0	3.0	9.1	100(66)
	東京一代目	3.2	9.7	19.4	35.5	16.1	0.0	3.2	12.9	100(31)
	二代目以上	2.9	11.4	40.0	34.3	2.9	0.0	2.9	5.7	100(35)
無職		0.0	3.2	23.8	31.7	19.0	4.8	3.2	14.3	100(63)
不明他		0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	100(4)
合計		1.5	5.6	23.6	37.4	16.4	2.6	2.1	10.8	100(195)
	東京一代目	2.4	3.6	22.6	35.7	16.7	4.8	2.4	11.9	100(84)
	二代目以上	0.9	7.5	25.5	39.6	17.0	0.9	0.9	7.5	100(106)

資料：実態調査より

表２－３－12　休日の過ごし方（男）―30％以上・上位三位まで（複数回答）　単位：％

		一位	二位	三位	三位	三位
資本家階級		テレビ(68.2)	ごろ寝(45.5)	子どもの世話(40.9)	－	－
	東京一代目	テレビ(85.7)	仕事の計画(57.1)	子どもの世話(57.1)	－	－
	二代目以上	テレビ(60.0)	ごろ寝(46.7)	家族の団らん(40.0)	趣味(40.0)	－
自営業	自営業・生産	テレビ(71.7)	ごろ寝(50.0)	趣味(39.1)	－	－
	自営業・販サ	テレビ(71.1)	ごろ寝(44.7)	趣味(31.6)	－	－
	自営業・専門	テレビ(50.0)	家族の団らん(50.0)	ごろ寝(33.3)	読書(33.3)	友人と話す(33.3)
	計	テレビ(70.0)	ごろ寝(46.7)	趣味(33.3)	－	－
	東京一代目	テレビ(58.6)	ごろ寝(51.7)	職場の仕事(34.5)	－	－
	二代目以上	テレビ(74.1)	ごろ寝(43.1)	趣味(37.9)	－	－
労働者	労働者・専門	テレビ(82.4)	趣味(64.7)	読書(58.8)	－	－
	労働者・事務	テレビ(62.5)	ごろ寝(50.0)	－	－	－
	労働者・生産	ごろ寝(71.4)	テレビ(66.7)	読書(38.1)	－	－
	労働者・不生産	テレビ(76.0)	ごろ寝(52.0)	家族の団らん(52.0)	－	－
	臨時・パート	テレビ(100.0)	ごろ寝(100.0)	－	－	－
	計	テレビ(74.7)	ごろ寝(60.0)	読書(40.0)	－	－
	東京一代目	テレビ(73.5)	ごろ寝(55.9)	読書(41.2)	－	－
	二代目以上	テレビ(75.0)	ごろ寝(62.5)	家族の団らん(45.0)	趣味(45.0)	－
無職・不明		テレビ(60.0)	ごろ寝(60.0)	趣味(40.0)	－	－
合計		テレビ(71.4)	ごろ寝(52.1)	趣味(37.0)	－	－
	東京一代目	テレビ(67.1)	ごろ寝(52.1)	趣味(32.9)	－	－
	二代目以上	テレビ(73.0)	ごろ寝(51.3)	趣味(40.9)	－	－

資料：実態調査より

表２－３－13　休日の過ごし方（女）―30％以上・上位三位まで（複数回答）　単位：％

		一位	二位	三位	三位	三位
自営業	自営業・生産	テレビ(65.2)	たまった家事(60.9)	家族の団らん(43.5)	－	－
	自営業・販サ	たまった家事(55.3)	テレビ(52.6)	家族の団らん(31.6)	家族で買物(31.6)	－
	自営業・専門	家族で買物(100)	－	－	－	－
	計	テレビ(56.5)	たまった家事(56.5)	家族の団らん(35.5)	－	－
	東京一代目	テレビ(64.0)	たまった家事(60.0)	趣味(40.0)	－	－
	二代目以上	たまった家事(55.6)	テレビ(50.0)	家族の団らん(36.1)	家族で買物(36.1)	－
労働者	労働者・専門	たまった家事(50.0)	趣味(50.0)	読書(50.0)	－	－
	労働者・事務	たまった家事(85.7)	テレビ(64.3)	友人と話す(50.0)	－	－
	労働者・生産	ごろ寝(50.0)	－	－	－	－
	労働者・不生産	たまった家事(58.3)	テレビ(41.7)	ごろ寝(33.3)	読書(33.3)	友人と話す(33.3)
	臨時・パート	たまった家事(70.0)	テレビ(40.0)	家族で買物(40.0)	子どもの世話(40.0)	－
	計	たまった家事(66.7)	テレビ(43.9)	ごろ寝(31.8)	友人と話す(31.8)	－
	東京一代目	たまった家事(51.6)	テレビ(48.4)	友人と話す(35.5)	－	－
	二代目以上	たまった家事(80.0)	テレビ(40.0)	親戚への訪問(34.3)	－	－
無職		テレビ(50.8)	家族の団らん(44.4)	家族で買物(31.7)	－	－
不明他		－	－	－	－	－
合計		テレビ(49.7)	たまった家事(48.2)	家族の団らん(32.3)	－	－
	東京一代目	テレビ(51.2)	たまった家事(42.9)	家族の団らん(32.1)	趣味(32.1)	－
	二代目以上	たまった家事(53.8)	テレビ(48.1)	家族の団らん(33.0)	－	－

資料：実態調査より

くっているのである。

こうして，東京一代目の資本家が「仕事の計画」をねる点を除いては，階層的な違いなく，男性は日頃の長時間労働に疲れた体を「テレビ」と「ごろ寝」で休め，そのあいだに女性はどの階層の場合にも「たまった家事」をこなしているのである。

第3節　仕事上・生活上の諸問題と相談相手

こうした現実のなかで，彼らは仕事上の問題としてどんなことをあげているのであろうか。表2－3－14・15をみると，たしかにもっとも労働時間の長い自営は女の東京一代目を除いて「長時間労働」をあげる者がもっとも多い。これに対し，労働者の場合には「長時間労働」よりもむしろ「低収入」をあげる者の方が目につく。しかし，これも「長時間労働」に見合った収入になっていないという意味で受けとめれば，すでにみた現実を反映したものと見ることができる。「低収入」とともに東京一代目の男ではやはり「長時間労働」が第一位にあげられ，女の場合にも「仕事がきつい」ことをあげる階層がみられることから考えても，こうした理解が妥当であるといえる。

しかも，こうした問題が彼らにとって，いかに深刻なものとなっているのかということは，男女ともに，表2－3－16・17のように生活上の問題についても「住宅の問題」，「家族の健康の問題」，「物価や税金の高さの問題」とともに自営が「長時間労働」をあげ，労働者が「低収入」をあげていることに端的に示されている。

しかし，こうした中にあって，男性の資本家を見ると，むしろ仕事の問題を「なし」と答える者が東京一代目・二代目以上にかかわりなく40％をこえもっとも多くなっており，独特な傾向を示している。とりわけ，東京一代目層の「長時間労働」を考慮すると，意外な結果である。これは，自らの労働が長時間に渡るもののそれに見合う結果がもたらされていることに基づいていると考えられる。ちなみに，全体として控えめに答えているものの，表2－3－18のように，たしかに自らの暮らし向きに対する資本家の評価は，他の階級とは明らかに異なり，東京一代目層も含め「下」「下の上」と答えるものがまったくおらず，自営・労働者と比べ高い評価にシフトしている。また，生活上の問題をみても，たしかに東京一代目層の資本家の場合にはさすがに「自分の時間がない」という点があげられているものの，二代目以上の資本家では「税金の高さ」，「家族の健康」があげられているにとどまり，この点でも資本家とそれ以外の階級の間に大きな相違があることが明らかになる。

それでは，こうした仕事上・生活上の諸問題を彼らは誰に相談しているのであろうか。いいかえれば，どのような社会関係がこうした現実のなかで重要な意義を持っているのであろうか。

まず，表2－3－19から仕事上の問題の相談相手についてみてみよう。ここから，どの階級・階層でも特定のものに相談相手が限られていることがみてとれる。それは30％以上の者が相談相手としてあげたものが3つ存在していない階級・階層がほとんどであることからもうかがえる。

その場合，特定のものに限られているという点ではどの階級・階層も一致するもののその具体的なあり方は階級によって大きく異なっている。つまり，男性では，資本家の場合には「家

表２－３－14　仕事上の問題（男）―30％以上・上位三位まで（複数回答）　単位：％

		一位	二位	三位
資本家階級		なし(45.5)	－	－
	東京一代目	なし(42.9)	－	－
	二代目以上	なし(46.7)	－	－
自営業	自営業・生産	長時間労働(54.3)	低収入(34.8)	－
	自営業・販サ	長時間労働(44.7)	低収入(31.6)	－
	自営業・専門	長時間労働(33.3)	低収入(33.3)	休日少ない(33.3)
	計	長時間労働(48.9)	低収入(33.3)	－
	東京一代目	長時間労働(48.3)	低収入(31.0)	－
	二代目以上	長時間労働(50.0)	低収入(36.2)	休日少ない(36.2)
労働者	労働者・専門	低収入(58.8)	－	－
	労働者・事務	残業が多い(50.0)	－	－
	労働者・生産	休日少ない(42.9)	低収入(38.1)	－
	労働者・不生産	なし(36.0)	－	－
	臨時・パート	無回答(50.0)	－	－
	計	低収入(36.0)	－	－
	東京一代目	長時間労働(35.3)	－	－
	二代目以上	低収入(42.5)	休日少ない(30.0)	－
無職・不明		無回答(80.0)	－	－
合計		長時間労働(34.9)	低収入(30.2)	－
	東京一代目	長時間労働(38.4)	－	－
	二代目以上	低収入(33.9)	長時間労働(33.0)	休日少ない(32.2)

資料：実態調査より

表２－３－15　仕事上の問題（女）―30％以上・上位三位まで（複数回答）　単位：％

		一位	二位	三位
自営業	自営業・生産	長時間労働(34.8)	－	－
	自営業・販サ	長時間労働(34.2)	－	－
	自営業・専門	なし(100.0)	－	－
	計	長時間労働(33.9)	－	－
	東京一代目	無回答(44.0)	－	－
	二代目以上	長時間労働(36.1)	－	－
労働者	労働者・専門	低収入(50.0)	職場に活気ない(33.3)	無回答(33.3)
	労働者・事務	－	－	－
	労働者・生産	仕事がきつい(50.0)	無回答(50.0)	－
	労働者・不生産	仕事がきつい(33.3)	－	－
	臨時・パート	低収入(40.0)	－	－
	計	低収入(33.3)	－	－
	東京一代目	－	－	－
	二代目以上	低収入(48.6)	－	－
無職		無回答(88.9)	－	－
不明他		無回答(50.0)	なし(50.0)	－
合計		無回答(44.1)	－	－
	東京一代目	無回答(56.0)	－	－
	二代目以上	無回答(34.9)	－	－

資料：実態調査より

表２－３－16　生活上の問題（男）―30％以上・上位三位まで（複数回答）　単位：％

		一位	二位	三位	三位	三位
資本家階級		税金が高い(40.9)	家族の健康(36.4)	自分の時間ない(31.8)	－	－
	東京一代目	自分の時間ない(57.1)	－	－	－	－
	二代目以上	税金が高い(46.7)	家族の健康(40.0)	－	－	－
自営業	自営業・生産	長時間労働(47.8)	税金が高い(32.6)	自分の時間ない(32.6)	－	－
	自営業・販サ	長時間労働(34.2)	－	－	－	－
	自営業・専門	長時間労働(50.0)	家族の健康(50.0)	税金が高い(50.0)	－	－
	計	長時間労働(42.2)	税金が高い(30.0)	－	－	－
	東京一代目	長時間労働(44.8)	税金が高い(34.5)	低収入(31.0)	－	－
	二代目以上	長時間労働(43.1)	自分の時間ない(31.0)	－	－	－
労働者	労働者・専門	低収入(47.1)	家族の健康(41.2)	物価が高い(35.3)	－	－
	労働者・事務	長時間労働(50.0)	地区生活環境(37.5)	－	－	－
	労働者・生産	低収入(47.6)	税金が高い(33.3)	－	－	－
	労働者・不生産	子の教育の事(44.0)	住宅のこと(40.0)	税金が高い(40.0)	－	－
	臨時・パート	住宅のこと(75.0)	低収入(50.0)	家族の健康(50.0)	物価が高い(50.0)	地区生活環境(50.0)
	計	低収入(36.0)	税金が高い(33.3)	住宅のこと(32.0)	－	－
	東京一代目	住宅のこと(41.2)	物価が高い(41.2)	低収入(35.3)	税金が高い(35.3)	－
	二代目以上	低収入(35.0)	税金が高い(32.5)	子の教育の事(30.0)	－	－
無職・不明		なし(40.0)	無回答(40.0)	－	－	－
合計		－	－	－	－	－
	東京一代目	税金が高い(32.9)	低収入(30.1)	長時間労働(30.1)	－	－
	二代目以上	税金が高い(32.2)	－	－	－	－

資料：実態調査より

表２－３－17　生活上の問題（女）―30％以上・上位三位まで（複数回答）　単位：％

		一位	二位	三位	三位
自営業	自営業・生産	長時間労働(43.5)	物価が高い(30.4)	自分の時間ない(30.4)	－
	自営業・販サ	長時間労働(44.7)	自分の時間ない(39.5)	物価が高い(36.8)	－
	自営業・専門	子の教育の事(100)	地区生活環境(100)	－	－
	計	長時間労働(43.5)	自分の時間ない(35.5)	物価が高い(33.9)	－
	東京一代目	物価が高い(44.0)	長時間労働(36.0)	自分の時間ない(32.0)	－
	二代目以上	長時間労働(47.2)	自分の時間ない(36.1)	家族の健康(30.6)	－
労働者	労働者・専門	低収入(50.0)	物価が高い(50.0)	税金が高い(50.0)	－
	労働者・事務	住宅のこと(35.7)	家族の健康(35.7)	－	－
	労働者・生産	低収入(50.0)	物価が高い(50.0)	－	－
	労働者・不生産	家族の健康(50.0)	住宅のこと(41.7)	税金が高い(33.3)	－
	臨時・パート	低収入(43.3)	税金が高い(40.0)	物価が高い(36.7)	－
	計	低収入(34.8)	物価が高い(34.8)	税金が高い(34.8)	家族の健康(34.8)
	東京一代目	低収入(32.3)	住宅のこと(32.3)	－	－
	二代目以上	家族の健康(48.6)	物価が高い(42.9)	税金が高い(42.9)	
無職		－	－	－	－
不明他		無回答(50.0)	－	－	－
合計		－	－	－	－
	東京一代目	－	－	－	－
	二代目以上	家族の健康(34.9)	税金が高い(32.1)	－	－

資料：実態調査より

族」と「同業者」，自営では「同業者」か「家族」，労働者では「職場の仲間」か「上司」となっている。女性の場合にも基本的には同様な傾向がみられるが，「家族」の位置が高くなっているところに特徴がみられる。

こうした傾向は，表２－３－20のように生活上の問題の相談相手になると，よりいっそう際だったものとなる。30％以上の者があげているのはすべての階級・階層を通じてほぼ「家族」しか存在しなくなっている。なかには，資本家のように30％以上の者が同時に指摘するものがまったく存在しない階級さえ生じてきている。そこでは，「家族」が重要な意義をもつものになっていると同時に，それ以外の社会関係はそれほど重要な意義を示さなくなっていることが浮き彫りになる。

もとより，こうした現実の中で重要な意義を持つ社会関係を明らかにするためには，さらに，自らの考え方を形成するにあたって「影響を受けた人・もの」がいかなるものであるのかという点を検討する必要がある。なぜなら，仕事上・生活上の問題を解決するにあたって，他人に相談せず自らの力でそれを解決する場合にも，その基礎となる自らの考え方に影響を与えている者がいる場合，それが間接的に重要な意義を持つ社会関係として存在していると考える必要があるからである。

しかし，こうした観点から，自らの考え方を形成するにあたって「影響を受けた人・もの」について検討した場合にも，すでにみた傾向はやはり変わらないものとして存在している。つまり，表２－３－21にみられるように，「影響を受けた人・もの」として，男性では資本家が「なし」と答える者がもっとも多く，自営は「なし」を含めて30％を超えるものは存在しない。かろうじて自営や労働者の専門が「家族」をあげ，労働者の東京二代目以上が「マスコミ」をあげているのが目につく程度である。これに比べ，女性の場合には，表２－３－22のように「影響を受けた人・もの」をあげる階級・階層は多くなるが，その場合にも，ほぼどの階級・階層でも「家族」（おそらく「夫」を意味していると思われる）に限定され，東京一代目の労働者といくつかの階層で「マスコミ」があげられているにすぎない。こうしてみると，家族以外の人間関係は，自らの考え方に影響を及ぼすものとしてはほとんど重要な意義を持たず，それよりむしろマスコミの方が重要な位置を占めていることが明らかになる。いわば，家族の重要性，とりわけ女性にとっての重要性とそれ以外の人間関係の意義の薄さ，さらにそのなかでのマスコミの位置の相対的な大きさが明確になる。

このように，彼らが自らの仕事上・生活上の問題，とりわけ生活上の問題を解決するにあたって，直接的な意味でも間接的な意味でも，意義ある社会関係が特定のもの，とりわけ家族に限定されているという事実が明らかになる。このことは，一般的には，一方で，彼らの取り結ぶ客観的な社会関係の広がりに規定され，他方では，彼らの価値志向のあり方に規定されていると考えられる。

第４節　客観的な社会関係と価値志向

そこで，まず，彼らのとりむすぶ客観的な社会関係について明らかにするため，表２－３－23・24から，彼らの所属集団を見てみると，たしかに彼らのフェーストウフェースの関係が

表２－３－18　家の暮らし向きに対する評価（男）単位：％

		上	上の下	中の上	中	中の下	下の上	下	無回答	計
資本家階級		0.0	9.1	27.3	50.0	13.6	0.0	0.0	0.0	100(22)
	東京一代目	0.0	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	100(7)
	二代目以上	0.0	13.3	33.3	53.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100(15)
自営業	自営業・生産	0.0	4.3	6.5	45.7	17.4	10.9	4.3	10.9	100(46)
	自営業・販サ	0.0	2.6	7.9	34.2	28.9	13.2	2.6	10.5	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	100(6)
	計	0.0	3.3	7.8	41.1	22.2	11.1	4.4	10.0	100(90)
	東京一代目	0.0	3.4	6.9	34.5	24.1	13.8	6.9	10.3	100(29)
	二代目以上	0.0	3.4	6.9	44.8	20.7	10.3	3.4	10.3	100(58)
労働者	労働者・専門	0.0	0.0	0.0	35.3	17.6	23.5	17.6	5.9	100(17)
	労働者・事務	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100(8)
	労働者・生産	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6	4.8	9.5	0.0	100(21)
	労働者・不生産	0.0	4.0	8.0	32.0	36.0	16.0	4.0	0.0	100(25)
	臨時・パート	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	100(4)
	計	0.0	1.3	2.7	44.0	28.0	13.3	8.0	2.7	100(75)
	東京一代目	0.0	0.0	5.9	41.2	26.5	14.7	11.8	0.0	100(34)
	二代目以上	0.0	2.5	0.0	47.5	27.5	12.5	5.0	5.0	100(40)
無職・不明		0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	100(5)
合計		0.0	3.1	8.3	43.2	23.4	10.4	5.7	5.7	100(192)
	東京一代目	0.0	1.4	6.8	38.4	27.4	12.3	9.6	4.1	100(73)
	二代目以上	0.0	4.3	8.7	47.0	20.0	9.6	3.5	7.0	100(115)

資料：実態調査より

表２－３－19　仕事上の問題の相談相手―30％以上・上位三位まで（複数回答）　単位：％

		1位	2位	3位	N
男	資本家階級	家族(41.7)	同業者(41.7)	－	12
	東京一代	家族(50.0)	同業者(50.0)	－	4
	二代以上	家族(37.5)	同業者(37.5)	昔の学友(37.5)	8
	自営業	同業者(32.8)	－	－	67
	東京一代	家族(33.3)	－	－	21
	二代以上	同業者(33.3)	－	－	45
	労働者階級	職場の仲間(30.9)	－	－	55
	東京一代	職場の仲間(44.0)	職場の上司(32.0)	－	25
	二代以上	－	－	－	29
	男全体	－	－	－	135
	東京一代	家族(30.0)	－	－	50
	二代以上	－	－	－	83
女	自営業	家族(48.6)	無回答(34.3)	－	35
	東京一代	家族(50.0)	無回答(50.0)	－	10
	二代以上	家族(50.0)	－	－	24
	労働者階級	職場の仲間(31.7)	－	－	41
	東京一代	家族(40.0)	職場の仲間(33.3)	－	15
	二代以上	職場の仲間(30.8)	－	－	26
	女全体	家族(32.5)	－	－	77
	東京一代	家族(44.0)	－	－	25
	二代以上	－	－	－	50

注：ここでの数値は仕事上の問題があると答えた者を母数（N）にしている。
資料：実態調査より

表２－３－20　生活上の問題の相談相手―30％以上・上位三位まで（複数回答）　単位：％

		1位	2位	3位	N
男	資本家階級	－	－	－	18
	東京一代	－	－	－	7
	二代以上	－	－	－	11
	自営業	家族(32.4)	－	－	71
	東京一代	家族(40.0)	－	－	25
	二代以上	親戚(31.1)	－	－	45
	労働者階級	無回答(33.3)	－	－	69
	東京一代	無回答(40.6)	－	－	32
	二代以上	家族(36.1)	－	－	36
	男全体	－	－	－	159
	東京一代	無回答(32.3)	－	－	65
	二代以上	家族(31.5)	－	－	92
女	自営業	家族(48.1)	無回答(30.8)	－	52
	東京一代	家族(52.1)	無回答(36.8)	－	19
	二代以上	家族(53.1)	－	－	32
	労働者階級	家族(48.2)	－	－	56
	東京一代	家族(60.0)	親戚(32.0)	－	25
	二代以上	家族(38.7)	－	－	31
	無職	家族(52.4)	親戚(33.3)	－	42
	女全体	家族(49.7)	－	－	151
	東京一代	家族(53.0)	－	－	66
	二代以上	家族(47.6)	－	－	84

注：1．ここでの数値は生活上の問題があると答えた者を母数（N）にしている。
2．「親戚」には夫の兄弟，妻の兄弟が含まれる。
資料：実態調査より

表2－3－21　影響を受けた人・もの（男）―30%以上・上位三位まで（複数回答）　単位：%

		一位	二位	三位
資本家階級		なし(36.4)	－	－
	東京一代目	－	－	
	二代目以上	なし(46.7)	昔の学友(33.3)	－
自営業	自営業・生産	－	－	－
	自営業・販サ	－	－	－
	自営業・専門	家族(50.0)	近隣の人(33.3)	マスコミ(33.3)
	計	－	－	－
	東京一代目	－	－	－
	二代目以上	－	－	－
労働者	労働者・専門	家族(41.2)	－	－
	労働者・事務	－	－	－
	労働者・生産	－	－	－
	労働者・不生産	マスコミ(36.0)	－	－
	臨時・パート	マスコミ(50.0)	－	－
	計	－	－	－
	東京一代目	－	－	－
	二代目以上	マスコミ(35.0)	－	－
無職・不明		昔の職場の仲間(40.0)	無回答(40.0)	－
合計		－	－	－
	東京一代目	－	－	－
	二代目以上	－	－	－

資料：実態調査より

表2－3－22　影響を受けた人・もの（女）―30%以上・上位三位まで（複数回答）　単位：%

		一位	二位	三位
自営業	自営業・生産	家族(52.2)	マスコミ(30.4)	－
	自営業・販サ	家族(47.4)	－	－
	自営業・専門	なし(100.0)	－	－
	計	家族(48.4)	－	－
	東京一代目	無回答(40.0)	家族(36.0)	－
	二代目以上	家族(58.3)	－	－
労働者	労働者・専門	マスコミ(50.0)	家族(33.3)	職場の上司(33.3)
	労働者・事務	家族(42.9)	マスコミ(42.9)	－
	労働者・生産	無回答(50.0)	－	－
	労働者・不生産	無回答(33.3)	－	－
	臨時・パート	家族(53.3)	－	－
	計	家族(42.4)	－	－
	東京一代目	マスコミ(32.3)	－	－
	二代目以上	家族(54.3)	－	－
無職		家族(38.1)	－	－
不明他		無回答(75.0)	－	－
合計		家族(42.6)	－	－
	東京一代目	家族(34.5)	－	－
	二代目以上	家族(50.0)	－	－

資料：実態調査より

表２－３－23　所属集団（男）―30%以上・上位三位まで（複数回答）　　単位：%

		一位	二位	三位
資本家階級		町内会(52.2)	－	－
	東京一代目	町内会(71.4)	－	－
	二代目以上	町内会(43.8)	－	－
自営業	自営業・生産	町内会(60.9)	同業者(37.0)	－
	自営業・販サ	町内会(68.4)	同業者(39.5)	－
	自営業・専門	町内会(50.0)	同業者(50.0)	－
	計	町内会(63.3)	同業者(38.9)	－
	東京一代目	町内会(55.2)	同業者(34.5)	－
	二代目以上	町内会(69.0)	同業者(43.1)	－
労働者	労働者・専門	無回答(47.1)	－	－
	労働者・事務	町内会(57.1)	労働組合(50.0)	無回答(42.9)
	労働者・生産	町内会(61.9)	無回答(38.1)	－
	労働者・不生産	町内会(36.0)	－	－
	臨時・パート	無回答(75.0)	－	－
	計	町内会(39.2)	無回答(39.2)	－
	東京一代目	無回答(50.0)	－	－
	二代目以上	町内会(46.2)	無回答(30.8)	－
無職・不明		町内会(80.0)	老人会(40.0)	－
合計		町内会(53.1)	－	－
	東京一代目	町内会(46.6)	－	－
	二代目以上	町内会(57.4)	－	－

資料：実態調査より

表２－３－24　所属団体（女）―30%以上・上位三位まで（複数回答）　　単位：%

		一位	二位	三位
自営業	自営業・生産	町内会(43.5)	町内婦人会(30.4)	－
	自営業・販サ	趣味のサークル(34.2)	－	－
	自営業・専門	無回答(100.0)	－	－
	計	町内会(33.9)	趣味のサークル(30.6)	－
	東京一代目	町内会(32.0)	町内婦人会(32.0)	－
	二代目以上	町内会(33.3)	趣味のサークル(33.3)	－
労働者	労働者・専門	無回答(50.0)	町内会(33.3)	趣味のサークル(33.3)
	労働者・事務	趣味のサークル(42.9)	無回答(42.9)	町内会(35.7)
	労働者・生産	町内会(50.0)	－	－
	労働者・不生産	町内会(50.0)	－	－
	臨時・パート	無回答(36.7)	－	－
	計	無回答(36.4)	町内会(34.8)	－
	東京一代目	無回答(38.7)	町内会(35.5)	－
	二代目以上	町内会(34.3)	無回答(34.3)	－
無職		町内会(41.3)	－	－
不明他		町内会(50.0)	－	－
合計		町内会(36.9)	－	－
	東京一代目	町内会(38.1)	－	－
	二代目以上	町内会(36.8)	－	－

資料：実態調査より

希薄になっていることが浮き彫りになる。たとえば，男女問わず，すべての階級・階層が「町内会」をあげている他は，男性の自営の「同業者」と女性・労働者の専門・事務の「趣味のサークル」が目を引く程度である。労働者でも「労働組合」に加入している者は男性労働者の事務に目立つ程度で全体ではわずかになっている。

しかし，ここで注意する必要があるのは，男女・階層の如何を問わず，「町内会」が高い頻度で指摘されている点である。なぜなら，ここで多くの者によってあげられている町内会や近隣関係がすでにみたように現実生活の問題解決にとっては意義ある社会関係とみなされていなかったからである。しかし，このことは，町内会や近隣関係がまったく形だけの存在になり，不必要なものと考えられていることを意味してはいない。事実，表2－3－25・26のように，「町内会は必要ない」「町内会は行政の下請けでよい」「地縁の絆は緩やかな方がよい」という町内会や近隣関係に対する否定的な考え方は少なく，むしろ「新しい共同の場とすべき」という考えが労働者も含め男女とも，どの階層でももっとも多い。したがって，少なくとも町内会や近隣関係についてみれば，現実的な機能は別にして，将来においては現実に意義ある社会関係に転化しうる可能性をはらんでいると見てよい。

こうした問題は，すでに冒頭で述べた東京二代目以上層にとっての親族のネットワークの場合にも，ほぼ同様に当てはまる。彼らの仕事上・生活上の問題の解決にとって意義あるものとしてあげられていなかったものの，将来，いざというときに大きな機能を発揮しうる可能性があることも容易に予測しうることである。

その意味で，彼らの現実生活のなかで，意義ある社会関係としてあげられたものが，とりわけ家族に限定される傾向は，客観的な社会関係がつねに十分に機能していないことにもとづくものであると同時に，客観的な社会関係のあり方は，彼らの生活にとって重要な意義をもつものへ転化しうる可能性を持っていることが明らかになる。

ところで，現実生活のなかで，意義ある社会関係がとりわけ家族に限定されるという傾向は，彼らの価値志向のあり方に負うところが大きいことも事実である。

すなわち，表2－3－27・28から「生き方についての考え方」を見てみると，男女問わず，ほぼどの階級も9番の「家族の生活のために生きたい」がもっとも多い。ついで，1番の「自分の人生を好きに生きる」か，2番の「社会に認められなくてもよいから，自分の人生を個性的に生きる」が上位にのぼっている。いわば，生き方の家族志向や個人志向が，男女問わず非常に強く，これが生活上の問題の相談相手が家族に限定される傾向の一つの背景になっていることがよみとれる。

もちろん，ここでみられる家族志向は，かつての「家」を重視する考え方に立脚したものでないことはいうまでもない。事実，表2－3－29・30からわかるように，「『家』を守り家産を中心に」という家族観は男女・階級の別なくほとんどみられない。むしろ，「家族の生活を中心に仲良く」ないし「各世代の個性を大切に」という家族観が基本になっている。その意味で，ここでみられる家族志向は，「家」そのものでなく，家族成員を大切にするという家族観に基づくものであるといえる。

ただし，その中で注目する必要があるのは，男性の東京一代目，二代目以上の資本家と東京一代目の女性労働者に6番の「働く仲間とともに生活が少しでも良くなるようにしたい」，あ

表２－３－25　近隣・町内についての考え方（男）― ２項目選択　　単位：％

		昔のような密接な関係望む	地縁の絆は緩やかな方よい	新しい共同の場とすべき	町内会は行政の下請でよい	町内会は必要ない	その他	わからない	無回答	計
資本家階級		56.5	13.0	60.9	8.7	4.3	4.3	8.7	8.7	100(22)
	東京一代目	57.1	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	100(7)
	二代目以上	56.3	18.8	56.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	100(15)
自営業	自営業・生産	56.5	8.7	80.4	8.7	4.3	2.2	8.7	6.5	100(46)
	自営業・販サ	52.6	13.2	73.7	10.5	0.0	5.3	13.2	5.3	100(38)
	自営業・専門	33.3	16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	100(6)
	計	53.3	11.1	76.7	10.0	2.2	4.4	11.1	6.7	100(90)
	東京一代目	41.4	13.8	75.9	17.2	3.4	3.4	13.8	3.4	100(29)
	二代目以上	56.9	10.3	75.9	6.9	1.7	5.2	10.3	8.6	100(58)
労働者	労働者・専門	35.3	23.5	76.5	5.9	11.8	11.8	0.0	0.0	100(17)
	労働者・事務	42.9	28.6	71.4	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	100(8)
	労働者・生産	33.3	33.3	57.1	9.5	4.8	0.0	19.0	4.8	100(21)
	労働者・不生産	32.0	20.0	80.0	8.0	4.0	12.0	12.0	4.0	100(25)
	臨時・パート	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	100(4)
	計	35.1	25.7	68.9	9.5	6.8	6.8	12.2	4.1	100(75)
	東京一代目	38.2	26.5	67.6	11.8	8.8	5.9	8.8	2.9	100(34)
	二代目以上	33.3	25.6	71.8	7.7	5.1	7.7	15.4	2.6	100(40)
無職・不明		100.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	100(5)
合計		47.9	16.7	70.8	9.4	4.7	5.2	11.5	5.7	100(192)
	東京一代目	43.8	17.8	69.9	13.7	5.5	4.1	12.3	4.1	100(73)
	二代目以上	49.6	16.5	71.3	7.0	4.3	6.1	11.3	6.1	100(115)

資料：実態調査より

表２－３－26　近隣・町内についての考え方（女）― ２項目選択　　単位：％

		昔のような密接な関係望む	地縁の絆は緩やかな方よい	新しい共同の場とすべき	町内会は行政の下請でよい	町内会は必要ない	その他	わからない	無回答	計
自営業	自営業・生産	39.1	17.4	65.2	8.7	0.0	8.7	13.0	13.0	100(23)
	自営業・販サ	26.3	36.8	60.5	15.8	0.0	7.9	5.3	5.3	100(38)
	自営業・専門	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100(1)
	計	30.6	29.0	62.9	12.9	0.0	8.1	8.1	8.1	100(62)
	東京一代目	24.0	32.0	60.0	20.0	0.0	12.0	16.0	8.0	100(25)
	二代目以上	33.3	27.8	66.7	8.3	0.0	5.6	2.8	8.3	100(36)
労働者	労働者・専門	16.7	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	100(6)
	労働者・事務	14.3	28.6	64.3	14.3	0.0	7.1	14.3	7.1	100(14)
	労働者・生産	25.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100(4)
	労働者・不生産	75.0	8.3	75.0	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	100(12)
	臨時・パート	43.3	16.7	56.7	10.0	3.3	10.0	13.3	6.7	100(30)
	計	39.4	21.2	62.1	9.1	7.6	7.6	10.6	6.1	100(66)
	東京一代目	25.8	32.3	54.8	3.2	12.9	3.2	12.9	12.9	100(31)
	二代目以上	51.4	11.4	68.6	14.3	2.9	11.4	8.6	0.0	100(35)
無職		34.9	17.5	66.7	6.3	1.6	6.3	20.6	6.3	100(63)
不明他		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100(4)
合計		35.4	22.1	62.6	9.2	3.1	7.2	12.8	7.7	100(195)
	東京一代目	27.4	27.4	59.5	9.5	6.0	8.3	16.7	8.3	100(84)
	二代目以上	39.6	18.9	65.1	9.4	0.9	6.6	9.4	7.5	100(106)

資料：実態調査より

表２－３－27　生き方についての考え方（男）―30%以上・上位三位まで
（13項目から３項目選択）

単位：%

		一　位	二　位	三　位	三　位	三　位
資本家階級		9(69.6)	6(47.8)	1(39.1)	—	—
	東京一代目	9(57.1)	10(57.1)	6(42.9)	—	—
	二代目以上	9(75.0)	6(50.0)	1(43.8)	2(43.8)	—
自営業	自営業・生産	9(58.7)	1(47.8)	6(37.0)	—	—
	自営業・販サ	9(71.1)	1(47.4)	2(39.5)	—	—
	自営業・専門	2(66.7)	9(50.0)	10(50.0)		
	計	9(63.3)	1(45.6)	2(36.7)		
	東京一代目	9(58.6)	1(44.8)	2(41.4)	—	—
	二代目以上	9(63.8)	1(43.1)	2(34.5)	—	—
労働者	労働者・専門	2(52.9)	1(47.1)	9(35.3)	6(35.3)	8(35.3)
	労働者・事務	1(85.7)	9(71.4)	2(71.4)	—	—
	労働者・生産	9(66.7)	1(61.9)	2(47.6)	—	—
	労働者・不生産	1(60.0)	9(56.0)	2(44.0)	—	—
	臨時・パート	9(75.0)	1(50.0)	2(50.0)	—	—
	計	9(56.8)	1(59.5)	2(50.0)	—	—
	東京一代目	9(58.8)	1(47.1)	2(44.1)	—	—
	二代目以上	1(69.2)	9(56.4)	2(53.8)	—	—
無職・不明		1(60.0)	9(40.0)	2(40.0)	—	—
合計		9(60.4)	1(50.5)	2(41.7)	—	—
	東京一代目	9(56.2)	1(43.8)	2(39.7)	—	—
	二代目以上	9(62.6)	1(53.0)	2(42.6)	—	—

注：数値は凡例の選択肢番号を示し，（ ）内は，その選択肢が選ばれた割合を示している。
資料：実態調査より

〈凡例〉
1．自分の人生を好きに生きる
2．社会に認められなくてもよいから自分の人生を個性的に生きる
3．神とともに生きる
4．会社（企業）に認められる人生をおくる
5．同業者の役にたつ人生をおくりたい
6．働く仲間とともに生活が少しでも良くなるようにしたい
7．ボランティア活動などを通じて社会に奉仕する
8．社会に評価されるように自分の個性を生かしたい
9．家族の生活のために生きたい
10．地域社会を豊かにするために生きたい
11．社会を変えるために生きたい
12．その他
13．わからない

表２－３－28　生き方についての考え方（女）―30%以上・上位三位まで
（13項目から３項目選択）

単位：%

		一　位	二　位	三　位	三　位	三　位	三　位
自営業	自営業・生産	9(73.9)	1(43.5)	6(43.5)	—	—	—
	自営業・販サ	9(60.5)	1(50.0)	2(39.5)	—	—	—
	自営業・専門	9(100)	3(100)	4(100)	—	—	—
	計	9(66.1)	1(46.8)	6(33.9)	—	—	—
	東京一代目	9(60.0)	1(52.0)	6(36.0)	—	—	—
	二代目以上	9(69.4)	1(41.7)	2(33.3)	—	—	—
労働者	労働者・専門	9(50.0)	6(50.0)	1(33.3)	2(33.3)	7(33.3)	10(33.3)
	労働者・事務	1(50.0)	2(50.0)	9(42.9)	—	—	—
	労働者・生産	9(75.0)	6(50.0)	—	—	—	—
	労働者・不生産	2(50.0)	6(50.0)	9(41.7)	1(41.7)	—	—
	臨時・パート	9(56.7)	1(53.3)	6(40.0)	—	—	—
	計	9(51.5)	1(47.0)	6(42.4)	—	—	—
	東京一代目	9(54.8)	6(51.6)	1(48.4)	—	—	—
	二代目以上	9(48.6)	1(45.7)	2(40.0)	—	—	—
無職		9(57.1)	1(55.6)	—	—	—	—
不明他		NA(50.0)	—	—	—	—	—
合計		9(57.4)	1(49.2)	2(31.8)	—	—	—
	東京一代目	9(58.3)	1(50.0)	6(32.1)	—	—	—
	二代目以上	9(57.5)	1(47.2)	2(34.9)	—	—	—

資料：実態調査より

表２－３－29　家族についての考え方（男）― ２項目選択　　単位：％

		家族の生活を中心に仲良く	「家」を守り家産を中心に	夫婦の絆を中心に	子どもの成長を中心に	親（老人）のことを中心に	各世代の個性を大切に	その他	わからない	無回答	計
資本家階級		73.9	13.0	8.7	26.1	0.0	43.5	0.0	4.3	4.3	100(22)
	東京一代目	85.7	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	100(7)
	二代目以上	68.8	12.5	12.5	31.3	0.0	37.5	0.0	6.3	6.3	100(15)
自営業	自営業・生産	71.7	15.2	43.5	17.4	6.5	28.3	0.0	2.2	6.5	100(46)
	自営業・販サ	71.1	2.6	31.6	7.9	5.3	44.7	0.0	5.3	5.3	100(38)
	自営業・専門	66.7	0.0	50.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	100(6)
	計	71.1	8.9	38.9	12.2	5.6	37.8	0.0	3.3	5.6	100(90)
	東京一代目	65.5	6.9	37.9	13.8	10.3	44.8	0.0	6.9	3.4	100(29)
	二代目以上	75.9	10.3	36.2	12.1	3.4	36.2	0.0	1.7	6.9	100(58)
労働者	労働者・専門	76.5	0.0	17.6	17.6	5.9	78.5	0.0	5.9	0.0	100(17)
	労働者・事務	85.7	0.0	14.3	28.6	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	100(8)
	労働者・生産	71.4	0.0	38.1	38.1	0.0	23.8	4.8	4.8	4.8	100(21)
	労働者・不生産	72.0	4.0	28.0	16.0	8.0	40.0	8.0	4.0	4.0	100(25)
	臨時・パート	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	100(4)
	計	73.0	1.4	28.4	23.0	4.1	47.3	4.1	4.1	4.1	100(75)
	東京一代目	70.6	0.0	35.3	14.7	2.9	55.9	2.9	5.9	2.9	100(34)
	二代目以上	76.9	2.6	23.1	30.8	5.1	41.0	5.1	2.6	2.6	100(40)
無職・不明		60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	100(5)
合計		71.9	6.3	30.7	18.2	4.7	41.7	1.6	4.2	4.7	100(192)
	東京一代目	68.5	4.1	32.9	13.7	6.8	50.7	1.4	6.8	2.7	100(73)
	二代目以上	75.7	7.8	27.8	21.7	3.5	37.4	1.7	2.6	5.2	100(115)

資料：実態調査より

表２－３－30　家族についての考え方（女）― ２項目選択　　単位：％

		家族の生活を中心に仲良く	「家」を守り家産を中心に	夫婦の絆を中心に	子どもの成長を中心に	親（老人）のことを中心に	各世代の個性を大切に	その他	わからない	無回答	計
自営業	自営業・生産	69.6	8.7	34.8	13.0	17.4	34.8	0.0	0.0	4.3	100(23)
	自営業・販サ	71.1	5.3	18.4	10.5	7.9	47.4	0.0	2.6	10.5	100(38)
	自営業・専門	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100(1)
	計	71.0	6.5	24.2	11.3	11.3	41.9	0.0	1.6	8.1	100(62)
	東京一代目	80.0	4.0	28.0	4.0	20.0	44.0	0.0	4.0	4.0	100(25)
	二代目以上	63.9	8.3	22.2	13.9	5.6	41.7	0.0	0.0	11.1	100(36)
労働者	労働者・専門	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100(6)
	労働者・事務	57.1	7.1	42.9	7.1	0.0	50.0	0.0	7.1	0.0	100(14)
	労働者・生産	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100(4)
	労働者・不生産	75.0	8.3	16.7	8.3	25.0	41.7	0.0	0.0	0.0	100(12)
	臨時・パート	76.7	0.0	16.7	20.0	0.0	46.7	3.3	0.0	10.0	100(30)
	計	71.2	3.0	25.8	13.6	7.6	45.5	1.5	1.5	4.5	100(66)
	東京一代目	74.2	3.2	25.8	6.5	6.5	41.9	3.2	3.2	6.5	100(31)
	二代目以上	68.6	2.9	25.7	20.0	8.6	48.6	0.0	0.0	2.9	100(35)
無職		55.8	1.6	36.5	20.6	4.8	42.9	0.0	6.3	6.3	100(63)
不明他		50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100(4)
合計		65.6	4.1	29.2	14.9	7.7	42.6	0.5	3.1	6.7	100(195)
	東京一代目	71.4	2.4	29.8	10.7	8.3	41.7	1.2	4.8	7.1	100(84)
	二代目以上	60.4	5.7	29.2	17.9	6.6	44.3	0.0	0.9	6.6	100(106)

資料：実態調査より

るいは10番の「地域社会を豊かにするために生きたい」と答える者が50%以上も存在していることである（表2－3－27・28）。そこには，家族志向・個人志向とともに，いわば共同志向の意識があることがうかがえる。男性の労働者や自営がほぼ完全に家族志向・個人志向になっていることを考えれば，男性の中で，労働者や自営は家族や自分を守るために余裕がなく，逆に資本家の方が家族や自分以外にも目を向ける余裕があることを物語っているといえる。その意味で，長時間労働などできびしい現実におかれている自営や労働者は，自らの立場を根本的に改善するには共同志向の考え方や行動がもっとも必要とされているにもかかわらず，むしろ家族志向や個人志向の考え方で自分を守るという考え方に陥っていると考えられる。

ところで，ここで問題となるのは，まったく立場の異なる男性の資本家と女性の東京一代目労働者にともに共同志向を持つ者が多いという事実である。しかし，両者の共同志向は，異なる文脈の中で表れたものであることも事実である。なぜなら，両者はともに共同志向を持つものの，仕事と生活に関する意識が大きく異なっているからである。

すなわち，表2－3－31・32のように，資本家は男女含めたすべての階級の中で，「仕事優先」とする者がもっとも多く，とくに東京一代目は42.9%に達している。これに対し，女性の東京一代目労働者の場合，男性労働者同様，「仕事優先」という考え方を持っている者はほとんど存在しない。したがって，同じく「働く仲間とともに生活が少しでも良くなるようにしたい」と考えていても，資本家は「仕事を優先させる」という考え方に裏打ちされたものであるのに対し，東京一代目の女性労働者は，「仕事と生活は別」あるいは「生活優先」という考え方に裏打ちされたものであると考える必要がある。いわば，前者は仕事を重視し，後者は生活を重視するか仕事と生活を割り切るがゆえに生じた共同志向であるといえる。

このようにみてくると，現実生活の中で，意義ある社会関係が家族に集中するという傾向は，現実の客観的な社会関係のあり方以上に価値志向のあり方のもつ意味が大きいということが明らかになる。

以上，見てきたことから明らかになることは，階級としての諸個人の生活や意識，さらに社会関係のあり方は，階級的に異なる側面と同時に，階級をこえた男性と女性という属性に基づく相違や東京移住世代といった地域社会への根付きの深さに基づく相違を内包したものとして存在しているということである。それゆえ，階級としての諸個人の生活現実の総体を十全に明らかにするためには，少なくとも，階級差，男女差，地域社会への根付きの深さの差を含めて検討しなければならないといえる。しかも，具体的な諸個人は特定の世帯の中で生活していることも事実で，たとえば，夫が資本家であるか労働者であるかによって，同じ女性無職の個人であっても，その生活・意識さらに社会関係は大きく異なっていることも否定できないし，その逆の場合にも同様なことがいえる。したがって，階級としての諸個人の生活現実の総体は，これらの点を総合的に検討しなければ，決して十分なものとはなりえないといえる。しかし，本稿では，こうした諸側面を必ずしも十全に明らかにしえていないことも事実である。その意味で，これらの問題を含めて，階級としての諸個人の生活・意識そして社会関係の全体構造を明らかにすることは，今後の課題として残されているといわねばならない。　（小内　透）

表2－3－31　仕事と生活に関する意識（男）

単位：%

		仕事優先	両者は別	生活優先	NA	計
資本家階級		34.8	34.8	17.4	13.0	100(22)
	東京一代目	42.9	14.3	28.6	14.3	100(7)
	二代目以上	31.3	43.8	12.5	12.5	100(15)
自営業	自営業・生産	37.0	30.4	17.4	15.2	100(46)
	自営業・販サ	23.7	36.8	23.7	15.8	100(38)
	自営業・専門	0.0	50.0	50.0	0.0	100(6)
	計	28.9	34.4	22.2	14.4	100(90)
	東京一代目	41.4	24.1	20.7	13.8	100(29)
	二代目以上	22.4	39.7	22.4	15.5	100(58)
労働者	労働者・専門	11.8	58.8	23.5	5.9	100(17)
	労働者・事務	14.3	42.9	42.9	0.0	100(8)
	労働者・生産	14.3	66.7	9.5	9.5	100(21)
	労働者・不生産	24.0	40.0	28.0	8.0	100(25)
	臨時・パート	0.0	25.0	25.0	50.0	100(4)
	計	16.2	51.4	23.0	9.5	100(75)
	東京一代目	17.6	52.9	14.7	14.7	100(34)
	二代目以上	15.4	48.7	30.8	5.1	100(40)
無職・不明		0.0	40.0	0.0	60.0	100(5)
合計		24.0	41.1	21.4	13.5	100(192)
	東京一代目	28.8	37.0	17.8	16.4	100(73)
	二代目以上	20.9	43.5	23.5	12.2	100(115)

資料：実態調査より

表2－3－32　仕事と生活に関する意識（女）

単位：%

		仕事優先	両者は別	生活優先	NA	計
自営業	自営業・生産	34.8	34.8	17.4	13.0	100(23)
	自営業・販サ	26.3	34.2	21.1	18.4	100(38)
	自営業・専門	0.0	100	0.0	0.0	100(1)
	計	29.0	35.6	19.4	16.1	100(62)
	東京一代目	32.0	40.0	16.0	12.0	100(25)
	二代目以上	25.0	33.3	22.2	19.4	100(36)
労働者	労働者・専門	0.0	66.7	33.3	0.0	100(6)
	労働者・事務	7.1	28.6	42.9	21.4	100(14)
	労働者・生産	50.0	0.0	50.0	0.0	100(4)
	労働者・不生産	16.7	58.3	16.7	8.3	100(12)
	臨時・パート	10.0	20.0	50.0	20.0	100(30)
	計	12.1	31.8	40.9	15.2	100(66)
	東京一代目	6.5	38.7	35.5	19.4	100(31)
	二代目以上	17.1	25.7	45.7	11.4	100(35)
無職		3.2	30.2	34.9	31.7	100(63)
不明他		0.0	50.0	0.0	50.0	100(4)
合計		14.4	32.8	31.3	21.5	100(195)
	東京一代目	14.3	35.7	29.8	20.2	100(84)
	二代目以上	14.2	31.1	32.1	22.6	100(106)

資料：実態調査より